

いきいきと力を
あわせたまちづくり
夢あふれる
紀の川市

紀の川市国民健康保険データヘルス計画 平成28・29年度 概要版



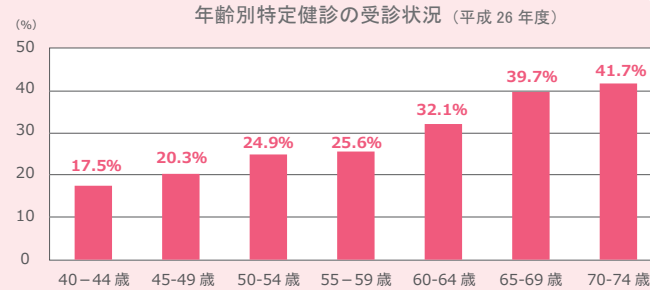
データヘルス計画ってなーに??

「紀の川市国民健康保険データヘルス計画」は、国民健康保険加入者みなさんの特定健診データ・レセプトデータを分析することにより、効果的・効率的な保健事業を確立し、実施していただくという計画です。今までの保健事業と異なる点は、保険者（紀の川市）自身が国民健康保険加入者の健康に関するデータを分析し、抱えている健康課題を把握し、その解決に向けて様々な保健事業を立案し、PDCAサイクルに沿って、事業を実施することです。**データヘルス計画を実施することで、紀の川市民の健康寿命の延伸および医療費の適正化を図ります。**

平成25年度に厚生労働省から示された方針だよ！

紀の川市にはどんな課題があったの??

■ 特定健診の受診状況

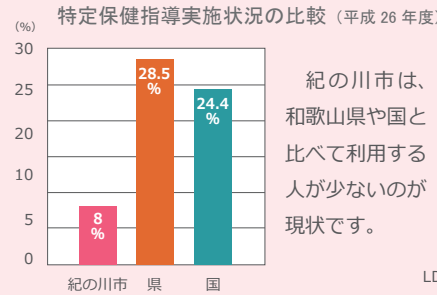


特定健診受診率を見ると、60歳代以上では30%を超えています。40歳代が特に低く、20%に届いていません。

※PDCAサイクルとは

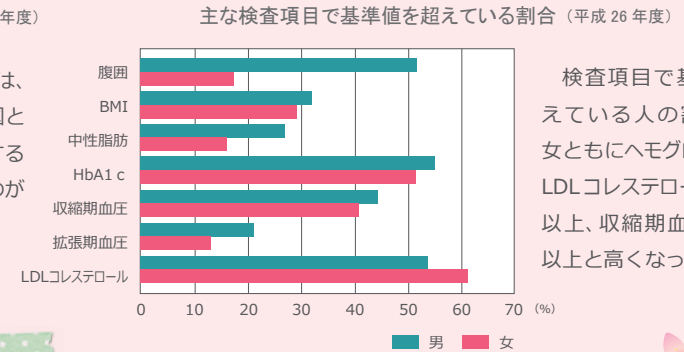
Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善）の4段階を繰り返すことによって、継続的に事業を改善していく手法です！

■ 特定保健指導を利用する人が少ない



紀の川市は、和歌山県や国と比べて利用する人が少ないのが現状です。

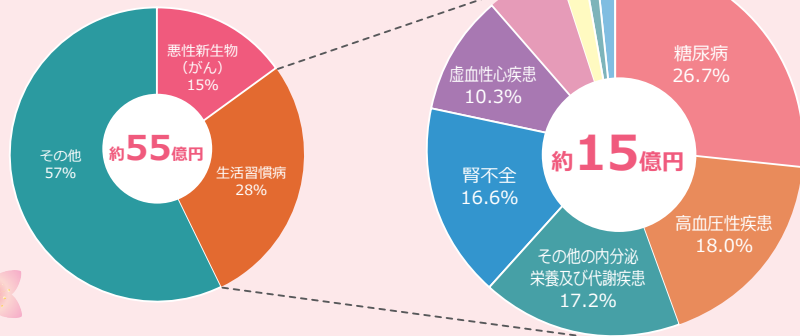
■ 生活習慣病のリスクを抱える人が多い



検査項目で基準値を超えている人の割合は、男女ともにヘモグロビンA1c、LDLコレステロールが50%以上、収縮期血圧が40%以上と高くなっています。

紀の川市の医療費の現状

疫病別医療費の状況（平成26年度）



紀の川市国民健康保険における医療費総額は約55億円となっています。生活習慣病は、そのうち約28%（約15億円）を占めています。その生活習慣病の医療費の4分の1が糖尿病となっており、ついで高血圧性疾患、その他の内分泌、栄養及び代謝疾患、腎不全となっています。生活習慣病の発症予防、早期発見および重症化予防に努めることが医療費の節約にもつながります。

市の取り組みは??

事業名	事業目的・取組	目標値（平成29年度）
特定健診受診率の向上	特定健診を受診していない方に毎年1回受診することを周知します。特に、40歳から50歳代の若年層の受診率向上に取り組みます。	受診率 40%
特定保健指導実施率の向上	特定保健指導を周知するとともに、生活習慣病の発症を予防、改善するため特定保健指導の利用を勧めます。	実施率 30%
生活習慣病重症化予防	人工透析などの重症化につながる可能性が高い方を対象に、生活習慣を改善するための支援を実施するとともに、受療の必要な方には、早期に医療機関への受療を勧めます。	受療率 30%